

上賀茂試験地で育成した *Rhododendron* について

真鍋逸平・田中弘之

はじめに

ツツジ科 (*Ericaceae*) のツツジ属 (*Rhododendron*) は南北両半球の熱帯から寒帯にかけて広く分布し、樹の大きさも 2~3 cm のマット状に生育¹³⁾するものから 20 m 以上の高木に生育¹³⁾するものもある。種数は 900 種以上あるといわれているが、現在でもまだ確たる *Rhododendron* の分類は完成されていないようである^{4,13)}。上賀茂試験地では 1960 年頃から国の内外の樹木園や植物園からツツジ属の種子を入手し、本試験地の環境下でどのような種が栽培およびさし木による増殖が可能であるかについて、各種の資料^{3,6,10,11,13)}を参考にして試験を続けてきた。現在生育しているツツジ属を Balfour¹³⁾ および Sleumer^{2,13)} による分類法で種数を示すと、無鱗片群 58 種、有鱗片群 53 種、ツツジ群 (自生種、園芸品種等 4 種を含む) 50 種及びジャバニカム群 1 種の合計 162 種に及んでいる。外国から入手した種子の種名や日本産の種名は文献^{1,2,5,7,12,13,14)}を参考にして確認した。

分類と分布の概略

表-1 は Balfour の分類¹³⁾に Sleumer によるジャバニカム群を加えた表であり、図-1 は中尾⁴⁾がこの 4 つの群についてそれぞれの分布域を示した図である。これに基づいて各群の特徴と分布を概略すると以下のようである。

無鱗片群は常緑で、葉は一般に大型で光沢があり、花はすべての種で大きい。低木状のものが多いが高木になる種もある。Ponticum 系の種の分布地域は日本、北アメリカ、小アジア、イベリヤ半島の冷温帯で、その他の系に属する種はヒマラヤ、ビルマ北部、中国 (四川・雲南両省) の山岳地に分布する。

有鱗片群は一般に常緑で、葉は小型である。葉、葉柄、花托、若い茎等の一部に毛の変形した星状毛または鱗片状の毛で被われるグループで、これらの Scale は肉眼でやっと認められる程度である。樹型は低木性で高木にまで成長しないようで、着生型の種もある。主な分布域はヒマラヤ、中国の西部であるが、東南アジアの亜熱帯、熱帯からシベリアやラップランド地域のような寒帯、アルプスの高山帯にも分布する。日本に分布しているヒカゲツツジ、ゲンカイツツジ、エゾムラサキツツジ、サカイツツジはこの群に属している。

ツツジ群は常緑または落葉性で、葉は比較的小型で無鱗片である。低木状を呈し、分布は北半球の環太平洋地域 (中国中南部、タイ、インドシナ、マレーシア、日本、カナダ、アメリカ合衆国) の低地である。日本では *Azalea* 系の種が多いが、*Semibarbatum* 系のバイカツツジ、*Stamineum* 系のセイシカもある。

ジャバニカム群の葉は有鱗片であるが、分布上の特色と形態、生態的特色および約 250 種⁴⁾を有する大群であることから、有鱗片群から独立させて取り扱われている。いづれも低木性で苔状に密生する生活型のものもあり、また着生種も多い。分布はマレーシア、フィリピン、ボルネオ、ニューギニア、オーストラリアなどで熱帯地方の山地の亜熱帯、温帯の気候帯に分布している。

各種の開花期, 花色, 生育状態, 原産地

上賀茂試験地で育生している種の花期, 花の色, 樹齡, 生育状態等を附表に示した。大部分の種の花期(最近数年間の花期の平均)は4月中旬から5月中旬までであるが, やや遅咲きのものでは, 無鱗片群の *R. maximum*, *R. discolor*, 有鱗片群の *R. fastigiatum*, ツツジ群の *R. indicum*, *R. scabrum*, *R. viscosum* 等は6月に, ツツジ群の *R. prunifolium*, 無鱗片群の *R. auriculatum* は7月中~下旬に開花する。ジャバニカム群の *R. lochiaie* はオーストラリアの原産地では, 4月から5月にかけて開花する^{2,13)}といわれているが, 本試験地では8月上旬に開花した。

162種の成育状態をA(林地植栽, または鉢栽培で樹勢良好な種), B(林地植栽, または鉢栽培で適切な管理をすればよく生育する種), C(林地植栽, 鉢栽培とも生育の良くない種)の3段階に分けると, Aと判断されたものは無鱗片群では53.7%, 有鱗片群では36.1%, ツツジ群では63.6%で生育数の半数が含まれる。ツツジ群に属する日本産のエゾツツジ, レンゲツツジ, ウラジロレンゲツツジ, キレンゲツツジや北米原産の *R. vaseyi*, *R. oblongifolium* はCと判断され, いずれも落葉性である。しかし同じ落葉性でも, *R. calendulaceum* (北米原産)や *R. luteum* (コーカサス, 東ヨーロッパ原産)は生育良好でAと判断した。

花冠の径が7~10cmと大きい花を咲かす種は *R. arboreum*, *R. auriculatum*, *R. sutchuense*, *R. discolor*, *R. fortunei*, *R. bullatum*, *R. crassum* で, 花冠の径2cm以下の小さい花を咲かす種は *R. impeditum*, *R. russatum*, *R. micranthum*, *R. racemosum* がある。

播種後開花までの年数は, 1985年までの調査では *R. impeditum*, *R. hemitrichotum*, *R. lutescens*, と *R. lochiaie* は播種後6~7年で開花したが, 多くの種は10年を経たからのようである。播種後15年以上経過しても開花しない種は無鱗片群の6種(*R. arboreum* v. *roseum*, *R. wallichii*, *R. ungermii*, *R. vellereum*, *R. wardii*, *R. thomsonii*), 有鱗片群の3種(*R. camelliaeflorum*, *R. mucronulatum*, *R. megacalyx*)とツツジ群の1種(*R. bakeri*)であった。

さし木で増殖し易い外国種は *R. arboreum*, *R. ponticum*, *R. williamsianum*, *R. cinnabarium*, *R. moupinense*, *R. augustinii*, *R. polylepis*, *R. lutescens*, *R. charianthum*, *R. racemosum*, *R. atlanticum*, *R. calendulaceum*, *R. prunifolium*, *R. nakaharai*, *R. oldhamii* の15種であった。

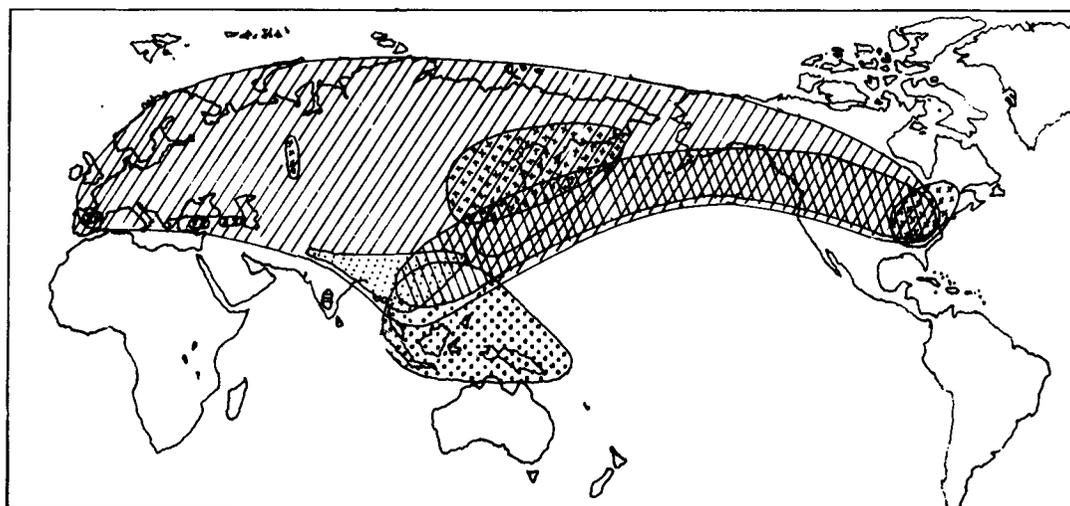
1978年に本試験地の野外に生育している49種について開花期間をしらべた結果を図-2に示した。開花期間は一般にその年の気象条件に影響されるが, 今回の観察では有鱗片群(12種)で平均17日, 無鱗片群(8種)で平均14日, ツツジ群(29種)で平均14日であった。短い開花期間(10日~12日)の種は18種(約37%), 長い開花期間(19日~23日)の種は11種(約22%)あり, *R. maximum*, *R. lutescens*, *R. prunifolium* の3種はとくに開花が長く22日から23日であった。

おわりに

中国(チベット, 雲南, 四川), ブータン, ネパール等の高海拔地域に分布する種を西日本の低地で栽培すると, 夏の高温のため枯死するものが多く, 本試験地では今までに約100種あった。従って今までに集められたシャクナゲの種以外に種数をふやす栽培実験を試みるねらいとしては, 夏の高温にも耐えて生育が期待出来そうな種, 例えば有鱗片群の *maddenii* 系(主な分布地域はヒマラヤや中国西部の照葉樹林帯)や播種後早く花を咲かせた *R. lochiaie* ような熱帯地方の高海拔地域に成育するジャバニカム群に属する種があるのではないと思われる。今後は未育生種の導入, さらに未開花種の花を確認するとともに, 日本とくに近畿地方で栽培可能な観賞上有用な種を詮索する予定である。

引用文献

- 1) 朝日百科：世界の植物21, 22 1976
- 2) 内藤芳徳・大島英夫・竹内照雄・柳下信次：原種シャクナゲ事典. 誠文堂新光社 1983
- 3) 新花卉：日本花卉園芸協会編. 92号. 1976, 106号. 1980
- 4) 中尾佐助・山崎敬： ガーデンライフ 5. 誠文堂新光社 1974
- 5) 馮国楯主編：雲南のシャクナゲ, 日本放送出版協会 1981
- 6) 田村輝夫・芝端祥介・和田弘一郎：躑躅, 阜月, 石楠花, 講談社 1974
- 7) 北村四郎・村田源：原色日本植物図鑑(木本編Ⅰ), 保育社 1971
- 8) 石井林寧・井上頼数(編集代表)：最新園芸大事典. 誠文堂新光社 1969
- 9) 中国高等植物図鑑(第三冊)：中国科学院植物研究所主編, 科学出版社 1980
- 10) シャクナゲ—その種類と栽培—：ガーデンライフ編著, 誠文堂新光社 1975
- 11) ツツジ—その種類と栽培—：ガーデンライフ編著, 誠文堂新光社 1976
- 12) Ted Van Veen (塚本, 奥本訳)：Rhododendron in America, みずうみ書房 1976
- 13) Leach, David G. Rhododendron of the world, Charles Scribners Sons, U. S. A. 1959
- 14) Rehder, A. : Manual of Cultivated Trees and Shrubs, 1962



- シャクナゲ群
- シャクナゲ群ポンチカム系
- シャクナゲ群アルボレウム系の南下したもの
- 有鱗片群
- ツツジ群
- ジャバニカム群

図-1 ロードデンドロンの各群の分布の概念図

注：朝日百科・世界の植物21（1976. 4. 11号）中尾より

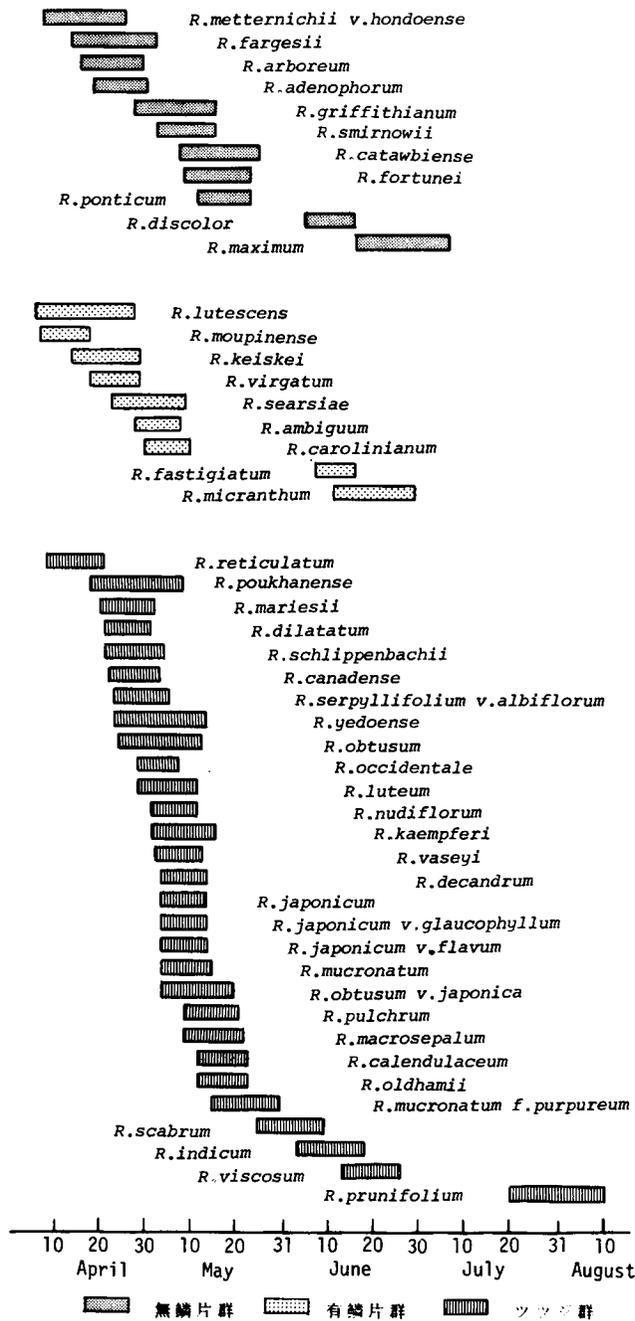


図-2 野外で育成している *Rhododendron* 属各種の1978年における開花期 (咲き始めから散り始めまでの期間)



R. camelliaeflorum
R. macrophyllum
R. canadense
R. arboreum
R. latoucheae

R. discolor
R. venator
R. calendulaceum
R. adenophorum
R. vaseyi

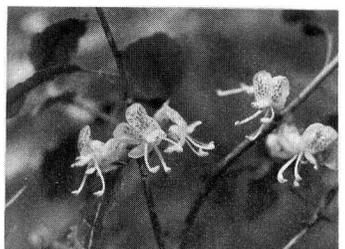
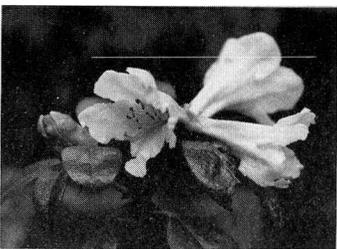
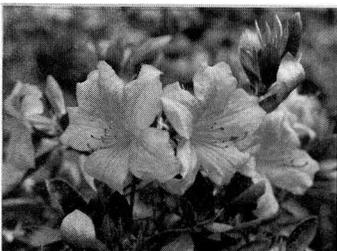
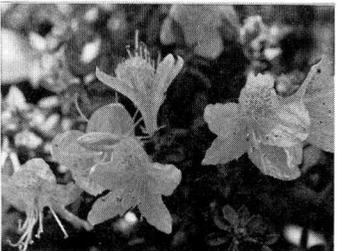
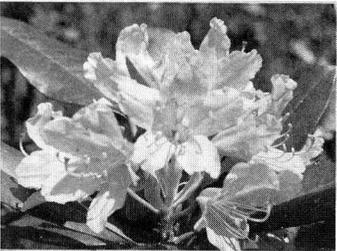
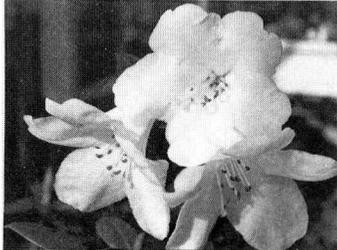
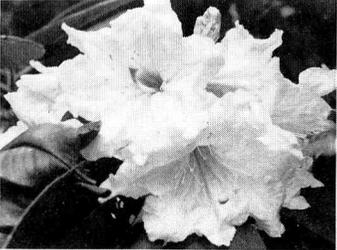
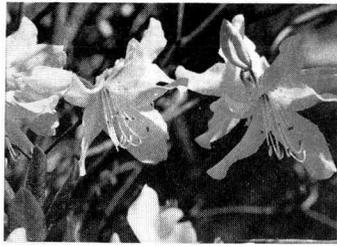
R. fargesii
R. elliotii
R. hemitrichotum
R. lutescens
R. polylepis



R. bullatum
R. viscosum
R. nudiflorum
R. luteum
R. keleticum

R. lochiae
R. molle
R. williamsianum
R. prunifolium
R. racemosum

R. johnstoneanum
R. virgatum
R. sutchuenense
R. searsiae
R. carolinianum



R. micranthum

R. auriculatum

R. ponticum

R. nakaharai

R. yedoense

R. schlippenbachii

R. moupinense

R. maximum

R. simsii

R. crasum

R. oldhamii

R. tephropeplum

R. smirnowii

R. mariesii

R. semibarbatum

附表 上賀茂試験地で育成している *Rhododendron* 属 (1986年7月現在)

系	亜系	種名	花期	花色	樹齡(年)	生育状態	生育場所	原産地	備考	
無鱗片群 ARBOREUM	Arboreum	<i>R. arboreum</i> SMITH.	4月中~下旬	濃赤	23	B	野外	スリランカ、カシミール、ブータン、シッキム、ヒマラヤ	さしき可	
		<i>R. arboreum</i> SMITH. v. <i>roseum</i>			18	B	ガラス室	ネパール		
		<i>R. niveum</i> HOOK. f.			2		ガラス室	シッキム、ブータン		
	AURICURATUM BARBATUM CAMPANULATUM	Argyrophyllum	<i>R. argyrophyllum</i> FRANCH.	4月下~5月上旬	淡紅	11	A	ガラス室	中国(チベット、雲南、四川、貴州)、ビルマ	アミ室
			<i>R. insigne</i> HEMSL. et WILS.	5月中~下旬	淡紅	14	B	野外	中国(四川)	
			<i>R. riviei</i> HEMSL. et WILS.			3		ガラス室	中国(四川)	
			<i>R. simiarum</i> HANCE			4		ガラス室	中国南東地域、台湾	
			<i>R. auriculatum</i> HEMSL.	7月中~下旬	淡紅	23	A	野外	中国(湖北、四川、貴州)	
			<i>R. hirtipes</i> TAGG.			4		ガラス室	中国(チベット南東)	
			<i>R. monosematum</i> HUTCH.			3		ガラス室	中国(四川)	
FORTUNEI	Davidii	<i>R. campanulatum</i> D. DON.			14	B	ガラス室	中国(チベット)、ブータン、カシミール		
		<i>R. wallichii</i> HOOK. f.			24	C	野外	ネパール、シッキム、ブータン、アッサム		
		<i>R. wiltonii</i> HEMSL. et WILS.			4		ガラス室	中国(四川)		
	Fortunei	<i>R. davidii</i> FRANCH.			4		ガラス室	中国(チベット、四川)		
		<i>R. sutchuenense</i> FRANCH.	4月中~下旬	淡紅	23	A	野外	中国(四川、湖北)		
		<i>R. discolor</i> FRANCH.	6月上~中旬	淡紅	32	A	野外	中国(四川、湖北)		
		<i>R. fortunei</i> LINDL.	5月上~中旬	白	24	A	野外	中国(浙江、江西、湖南)		
		<i>R. hemsleyanum</i> WILS.			6	A	野外	中国(四川)		
		<i>R. houlstonii</i> HEMSL. et WILS.			12	A	野外	中国(湖北、四川、雲南)		
		<i>R. vernicosum</i> FRANCH.			7	C	野外	中国(雲南、四川)		
GRANDE IRRORATUM	Calophytum	<i>R. calophytum</i> FRANCH.			7	B	ガラス室	中国(四川、湖北)		
	Griffithianum	<i>R. griffithianum</i> WIGHT.	4月中~5月下旬	薄紅	26	A	野外	シッキム、ブータン		
	Orbiculare	<i>R. orbiculare</i> DECAISNE.			7	B	ガラス室	中国(四川、チベット)		
	Oreodaxa	<i>R. fargesii</i> FRANCH.	4月中~5月中旬	白	26	A	野外	中国(四川、雲南、湖北、陝西)		
LACTEUM	Irroratum Parishii	<i>R. macabeanum</i> WATT. MS.			2		ガラス室	マニプール、アッサム	さしき可	
		<i>R. annae</i> FRANCH.	4月下~5月上旬	白	13	A	ガラス室	中国(貴州、雲南)		
		<i>R. elliottii</i> WATT. MS.***	6月上~中旬	濃紅	6	B	ガラス室	マニプール、アッサム		
		<i>R. venator</i> TAGG.	3月下~4月上旬	濃紅	20	B	野外	中国(チベット南東部)	アミ室	
		<i>R. traillianum</i> FORREST.			7	B	ガラス室	中国(四川、雲南)		
		<i>R. wightii</i> HOOK. f.			10	B	ガラス室	シッキム、ブータン		

附表 上賀茂試験地で育成している *Rhododendron* 属 (1986年7月現在)

系	亜系	種名	花期	花色	樹齡(年)	生育状態	生育場所	原産地	備考	
BOOTHII	Mageratum	<i>R. leucaspis</i> TAGG.			4		ガラス室	中国(雲南,チベット),ビルマ		
	Tephropeplum	<i>R. tephropeplum</i> BALF.f.et FARRER.	4月中~下旬	濃赤紫	15	B	ガラス室	中国(雲南,チベット),アッサム,ビルマ		
CAMELLIAEFLO- RUM CAROLINANUM		<i>R. camelliaeflorum</i> HOOK. f.			23	B	野外	シッキム,ブータン		
		<i>R. carolinianum</i> REHD.	5月上~中旬	淡紅	23	B	野外	北米(北カロライナ)		
CINNABARINUM DAURICUM		<i>R. minus</i> MICHX.			6	A	ガラス室	北米(北カロライナ,アラバマ)		
		<i>R. cinnabarinum</i> HOOK. f.			14	C	ガラス室	シッキム,ブータン,ネパール,チベット		
		<i>R. dauricum</i> LINN.	4月上~中旬	紅紫	*15	C	野外	中国(東北),日本(北海道),朝鮮 [エゾムラサキツツジ]		
		<i>R. mucronulatum</i> TURCZ.			15	C	野外	日本,中国,朝鮮 [カラムラサキツツジ]		
		<i>R. sichotense</i>			2		ガラス室	東部ソビエト		
EDEWORTHII FERRUGINEUM LAPPONICUM		<i>R. bullatum</i> FRANCH.		白	14	B	ガラス室	中国(雲南)		
		<i>R. ferrugineum</i> LINN.			8	C	ガラス室	オーストリア(アルプス),ピレネー山脈		
		<i>R. fimbriatum</i> HUTCH.			1		ガラス室	中国(雲南,四川)		
		<i>R. flavidum</i> FRANCH.			3		ガラス室	中国(四川)		
		<i>R. glomerulatum</i> HUTCH.			1		ガラス室	中国(雲南)		
		<i>R. impeditum</i> BALF.f. et W. W. SM.	4月上~中旬	紅紫	7	C	ガラス室	中国(雲南,四川)		
		<i>R. lapponicum</i> WAHL.			1		ガラス室	北米北東部,カナダ,北欧		
		<i>R. nigro-punctatum</i> BUR. et FRANCH.			4		ガラス室	中国(四川)		
		<i>R. parvifolium</i> ADAMS			*10	C	ガラス室	日本(北海道),朝鮮,サハリン,東シベリア [サカイツツジ]		
			<i>R. russatum</i> BALF. f. et FORREST.	4月下~5月上旬	紅紫	14	B	ガラス室	中国(雲南,四川)	
LEPIDOTUM MADDENII	Baileyi	<i>R. baileyi</i> BALF. f.			4		ガラス室	チベット,ブータン		
		<i>R. burmanicum</i> HUTCH.			1		ガラス室	ビルマ		
		<i>R. fletcherianum</i>			3		ガラス室	チベット南東		
		<i>R. johnstoneanum</i> WATT.	4月下旬~5月上旬	クリーム	14	B	ガラス室	アッサム,マニプール		
	Maddenii	<i>R. crassum</i> FRANCH.	6月上~中旬	白	15	A	野外	中国(雲南,チベット),ビルマ	アミ室	
		<i>R. maddenii</i> HOOK. f.			14	B	野外	シッキム,ブータン		
		<i>R. odoriferum</i> HUTCH.	5月下~6月中旬	白	16	A	野外	チベット	アミ室	
		<i>R. polyandrum</i> HATCH.	5月下~6月上旬	白	11	C	野外	ブータン,アッサム		
	MICRANTHUM MOUPINENSE	Megacalyx	<i>R. megacalyx</i> BALF.f.et WARD.			16	B	ガラス室	中国,ビルマ	
			<i>R. micranthum</i> TURCZ.	6月上~下旬	白	20	A	野外	中国北東部,朝鮮	
		<i>R. moupinense</i> FRANCH.	3月下~4月下旬	白	22	B	ガラス室	中国(四川,チベット)		

附表 上賀茂試験地で育成している *Rhododendron* 属 (1986年7月現在)

系	亜系	種名	花期	花色	樹齡(年)	生育状態	生育場所	原産地	備考			
SALUENENSE		<i>R. keleticum</i> BALF. f. et FORREST.	4月中~下旬	淡紅紫	21	C	ガラス室	中国(雲南、チベット)、ビルマ	さしき可			
		<i>R. prostratum</i> W. W. SM.			3		ガラス室	中国(雲南、四川)				
		<i>R. saluenense</i> FRANCH.			2		ガラス室	中国(雲南、四川、チベット)				
SCABRIFOLIUM TRICHOCLADUM		<i>R. hemitrichotum</i> BALF. f. et FORREST.	4月上~中旬	淡紅	7	A	ガラス室	中国(四川)				
		<i>R. lepidostylum</i> BALF. f. et FORREST.			3		ガラス室	中国(雲南)				
		<i>R. viridescens</i> HUTCH.			6		ガラス室	中国(チベット南東)				
TRIFLORUM	Augustinii	<i>R. augustinii</i> HEMSLE.	4月下~5月上旬	青紫	23	A	野外	中国(雲南、四川、陝西、湖北)	さしき可			
		Hanceanum			<i>R. hanceanum</i> HEMSLE. v. <i>nanum</i>	4月下~5月上旬	薄黄	15		C	ガラス室	中国
					Polylepis	<i>R. concinnum</i> HEMSLE.	5月上~中旬	淡紅紫		14	B	野外
	<i>R. polylepis</i> FRANCH.	4月下~5月上旬	赤紫	13		C	野外	中国(四川)	さしき可			
	Triflorum	<i>R. ambiguum</i> HEMSLE.	4月下~5月上旬	鮮黄		20	B	野外		中国(四川、貴州)		
		<i>R. bauhiniiflorum</i> WATT. WS.	4月中~下旬	白	21	A	ガラス室	アッサム、マニプル				
		Yunnanense	<i>R. keiskei</i> MIQUEL	4月中~下旬	淡黄	15	A	野外	日本(本州、四国、九州) [ヒカゲツツジ]	さしき可		
	<i>R. lutescens</i> FRANCH.		4月中~下旬	鮮黄	7	A	野外	中国(雲南、四川、チベット)	さしき可			
	<i>R. caeruleum</i> LEVL.				3		ガラス室	中国(雲南、四川)				
	<i>R. charianthum</i> HUTCH.		4月下~5月上旬	白	12	B	ガラス室	中国(四川、湖北)	さしき可			
	<i>R. charianthum</i> HUTCH.		4月下~5月上旬	白	12	B	ガラス室	中国(四川、湖北)	さしき可			
	<i>R. davidsonianum</i> REHD. et WILS.				4		ガラス室	中国(雲南、四川、チベット)				
	VIRGATUM		<i>R. lochmii</i> BALF. f.			7	A	野外	中国(四川)			
			<i>R. searsiae</i> REHD. et WILS.	4月下~5月上旬	淡紅紫	19	A	野外	中国(四川)			
			<i>R. yunnanensis</i> FRANCH.			11	B	ガラス室	中国(雲南、四川、チベット)、ビルマ			
<i>R. zaleucum</i> BALF. f. et W. W. SM.					14	A	野外	中国(雲南)、ビルマ				
<i>R. racemosum</i> FRANCH.			4月下~5月上旬	淡紅	15	C	野外	中国(雲南、四川)	さしき可			
<i>R. virgatum</i> HOOK. f.			4月中~下旬	淡紅	10	A	野外	シッキム、ブータン	アミ室			
ツツジ群												
AZALEA	Canadense	<i>R. albrechtii</i> MAXIM.	4月下~5月上旬	紅紫	18	B	野外	日本(本州、北海道) [ムラサキヤシオ]	さしき可			
		<i>R. canadense</i> TORREY.	4月下~5月上旬	鮮紅紫	24	A	野外	北米東北部				
		<i>R. vaseyi</i> A. GRAY	5月上~中旬	白	21	C	野外	北米(北カロライナ)				
	Luteum	<i>R. atlanticum</i> REHD.	4月下~5月中旬	淡紅	14	A	野外	北米東部				
		<i>R. bakeri</i> LEMMON et MCKAY		淡紅	26	B	野外	北米南東部				
		<i>R. calendulaceum</i> TORREY.	5月中~下旬	濃赤黄	26	A	野外	北米(バージニア)				

附表 上賀茂試験地で育成している *Rhododendron* 属 (1986年7月現在)

系	亜系	種名	花期	花色	樹齡(年)	生育状態	生育場所	原産地	備考
		<i>R. japonicum</i> SURINGAR.	5月上~中旬	朱 橙	15	C	野外	日本(北海道,本州,四国,九州) [レンゲツツジ]	
		<i>R. japonicum</i> SURINGAR. <i>v. glaucophyllum</i>	5月上~中旬	朱 橙	15	C	野外	日本(北海道,本州,四国,九州) [ウラジロレンゲツツジ]	
		<i>R. japonicum</i> SURINGAR. <i>f. flavum</i>	5月上~中旬	淡 黄	*17	C	野外	日本(北海道,本州,四国,九州) [キレンゲツツジ]	
		<i>R. luteum</i> SWEET.	4月下~5月上旬	黄	24	A	野外	コーカサス,東ヨーロッパ	
		<i>R. molle</i> G. DON	5月上~中旬	黄	21	B	野外	中国(広東,福建,長江流域)	
		<i>R. nudiflorum</i> TORREY.	5月上~中旬	薄 紅	21	A	野外	北米(北カロライナ)	
		<i>R. oblongifolium</i> MILLAIS.			14	C	野外	北米(オクラホリマ,テキサス)	
		<i>R. prunifolium</i> MILLAIS.	7月下~8月上旬	濃 赤	28	A	野外	北米(ジョージア,アラバマ)	さしき可
		<i>R. roseum</i> REHD.			7	B	ガラス室	北米東部	
		<i>R. viscosum</i> TORREY.	6月上~下旬	白	19	A	野外	北米(メイン,南カロライナ)	
	Obtusum	<i>R. eriocarpum</i> NAKAI			8	A	ガラス室	日本(九州南部~沖縄),台湾 [マルバサツキ]	さしき可
		<i>R. indicum</i> SWEET.	5月下~6月中旬	紅	*35	A	野外	日本(本州,九州) [サツキ]	さしき可
		<i>R. kaempferi</i> PLANCH.	5月上~中旬	朱 赤	自生	A	野外	日本(北海道,本州,四国,九州) [ヤマツツジ]	さしき可
		<i>R. kaempferi</i> PLANCH. <i>v. cryptopetalum</i> MAKINO	5月上~中旬	淡 紅	6	A	ガラス室	日本 園芸品種 [キンシベ]	さしき可
		<i>R. macrosepalum</i> MAXIM.	5月上~下旬	紅 紫	自生	A	野外	日本(本州,四国) [モチツツジ]	さしき可
		<i>R. macrosepalum</i> MAXIM. <i>v. linealifolium</i>	4月下~5月上旬	淡 紅 紫	8	B	野外	日本 園芸品種 [セイガイツツジ]	さしき可
		<i>R. macronatum</i> D.DON	5月上~中旬	白	*35	A	野外	原産地不明 [リュウキュウツツジ]	さしき可
		<i>R. macronatum</i> D.DON <i>f. purpureum</i> NAKAI	5月中~下旬	濃 紅 紫	*35	A	野外	日本 [リュウキュウムラサキ]	さしき可
		<i>R. nakaharai</i> HAYATA	5月中~下旬	暗 赤	13	B	野外	台湾 [ナカハラツツジ]	さしき可
		<i>R. obtusum</i> PLANCH.	4月下~5月上旬	白,淡紅-赤	*35	A	野外	日本(九州) 園芸品種 [クリシマツツジ]	さしき可
		<i>R. obtusum</i> PLANCH. <i>v. japonicum</i>	5月上~中旬	鮮 紅 紫	13	B	野外	日本(九州) [ミヤマクリシマ]	さしき可
		<i>R. obtusum</i> PLANCH. <i>v. tosaense</i> KITAMURA	4月下~5月上旬	淡 紅 紫	13	A	野外	日本(本州,四国,九州) [フジツツジ]	さしき可
		<i>R. oldhamii</i> MAXIM.	5月上~下旬	赤	*25	A	野外	台湾 [キンモウツツジ]	さしき可
		<i>R. poukhanense</i> LEVEILLE	4月下~5月上旬	紅 紫	*30	A	野外	日本(四国,九州),朝鮮 [チョウセンヤマツツジ]	さしき可
		<i>R. pulchrum</i> SWEET.	5月上~下旬	紅 紫, 白	*20	A	野外	日本 [ヒラドツツジ]	さしき可
		<i>R. ripense</i> MAKINO.	5月中~下旬	薄 紅 紫	10	A	野外	日本(本州,四国,九州) [キシツツジ]	さしき可

附表 上賀茂試験地で育成している *Rhododendron* 属 (1986年7月現在)

系	亜系	種名	花期	花色	樹齡(年)	生育状態	生育場所	原産地	備考	
CAMTSCHATICUM SEMIBARBATUM STAMINEUM	Schlippenbachii	<i>R. scabrum</i> G DON	5月下~6月上旬	濃 赤	*30	A	野外	日本(庵美大島~琉球) [ケラマツツジ]	さしき可	
		<i>R. serpyllifolium</i> MIQUEL	4月下~5月上旬	淡 紅	*20	A	野外	日本(本州、四国、九州) [ウンゼンツツジ]	さしき可	
		<i>R. serpyllifolium</i> MIQUEL.v. <i>albiflorum</i> MAK.	4月下~5月上旬	白	*20	A	野外	日本 [シロバナウンゼンツツジ]	さしき可	
		<i>R. simsii</i> PLANCH.	4月下~5月上旬	紅	21	B	ガラス室	中国(雲南、長江流域)、台湾	さしき可	
		<i>R. X tectum</i> KOIDZ.	5月上~5月中旬	鮮 紅 紫	自生	A	野外	日本 [ミヤコツツジ]	さしき可	
		<i>R. tschonoskii</i> MAXIM.			6	B	ガラス室	日本(北海道、本州、四国、九州)		
		<i>R. yedoense</i> MAXIM.	4月下~5月中旬	淡 紅	*12	B	野外	日本(園芸品種) [ヨドガワツツジ]		
		<i>R. mariesii</i> HEMSLET WILS.	4月下~5月上旬	薄 紅 紫	20	A	野外	中国(福建)、台湾		
		<i>R. dilatatum</i> MIQUEL	4月中~下旬	紅 紫	15	A	野外	日本(本州) [ミツバツツジ]		
		<i>R. decandrum</i> MAKINO	5月上~中旬	紅 紫	15	A	野外	日本(和歌山、四国、九州)		
	<i>R. quinquefolium</i> BISSET.et MOORE	4月下~5月上旬	白	*20	A	野外	日本(本州、四国) [シロヤシオ]			
	<i>R. reticulatum</i> D. DON	4月上~下旬	淡 紅 紫	自生	A	野外	日本(本州、四国、九州)			
	<i>R. schlippenbachii</i> MAXIM.	4月下~5月上旬	淡 紅	20	A	野外	中国東北部、朝鮮			
	<i>R. sanctum</i> NAKAI	5月下~6月上旬	赤	18	B	野外	日本(本州) [シブカワツツジ]			
	<i>R. tashiroi</i> MAXIM.			6	A	ガラス室	日本(高知、九州南部~琉球)	さしき可		
	<i>R. camtschaticum</i> PALLAS			6	C	ガラス室	日本(北海道)、東シベリア、アラスカ			
	<i>R. semibarbatum</i> MAXIM.	6月上~中旬	白	24	A	野外	日本(本州、四国、九州) [バイカツツジ]	さしき可		
	<i>R. latoucheae</i> FRANCI.	5月上~中旬	白	8	A	ガラス室	日本(奄美大島~西表島) [セイシカ]	さしき可		
	ジャバニカム群 **JAVANICA		<i>R. lochiaie</i> F.V.M.	8月上~下旬	鮮 赤	7	B	ガラス室	オーストラリア(クイーンズランド)、南インドネシア	

註 花期は数年間の平均を示す。樹齡：*印のものは推定年数を示す。生育状態：Aは林地植栽、または鉢栽培で樹勢良好な種類、Bは林地植栽、または鉢栽培で適切な管理をすればよく生育すると思われる種類、Cは林地植栽、鉢栽培とも生育のよくない種類を示す。なお、樹齡が5年生以下のものは判定せず空欄とした。植栽場所：野外とは樹木園、苗畑およびアミ室で生育中のものであり、ガラス室、アミ室ものはすべて鉢で栽培中のものである。

**印の *R. lochiaie* は SLEUMER によるウイレヤの分類であり、この種類は冬期加温のガラス室で越冬したものである。*印以外の種類は BALFOUR システムによる系、亜系によっている。

***印はさしき苗